

ボランティア体験プログラム

あやべ里山再生プロジェクト

村里に迫る暗い放置竹林を

伐り進め、風通しのよい

里山を取り戻そう！

タケノコの生まれる

開放的な竹林をめざして

参加者募集要項

ボランティア体験プログラム「あやべ里山活性化プロジェクト」は、京都府北部に位置する綾部市を舞台に、里山（人里に近く、人と自然の共生が図られた山林）の保全と地域の活性化に取り組む活動です。

かつて、里山は人々に木材を供給し、燃料や自然の恵みの食材を与えていました。また、人がそうして山林に入って整備することにより、植生が保たれるなど、共存関係にありました。そのような暮らしの中で、里山の生態系が守られてきました。しかし、そうした関係は、近年崩れてしまいました。

竹が森を侵食してしまっているのです。非常に成長の早い竹は、地下茎を森林に伸ばしてタケノコとして繁殖し、木々の成長を阻害してしまいます。一方で、かつて竹はタケノコとして人々の食卓にのぼり、また加工されて生活の道具となってきました。両者の共存のバランスが崩れ、竹林が放置されてしまったことが原因だと考えられています。今回の活動では、広がってしまった竹林を伐採し、その活用について考えます。

「里山ねっと・あやべ」（綾部市鍛冶屋町）では最近、「森林ボランティア」

グループが竹の活用のため、「竹炭焼き窯」を作りました。竹炭焼き窯に投入するのは、周辺に繁殖した竹です。竹炭焼き窯の近くにある竹林を地元の人から借り、竹を伐採して、開放的で風通しのよい竹林に生まれ変わらせる作業がボランティアの手によって進められています。繁殖した竹林を整備し竹炭に変えていく綾部の取り組みに参加しましょう。

まず、竹林をどんどん伐採していきます。竹を倒すときには、意図しない方向に倒れないよう、ロープも活用しながら、上手にたおすことが必要です。倒した竹を搬出する作業も必要です。伐採し、搬出していけば、竹林は見る間に明るく風通しのよい空間に生まれ変わっていきます。二日間、力のつづく限り、竹を切り続けましょう。

切った竹はいろいろな目的に活用できます。炭に焼くだけでなく、生活道具や工芸品にもなりますし、生け花にも使えます。炭を焼く過程でできる竹酢液（ちくさくえき）は農業に利用できます。竹を切るだけでなく、炭焼きの補助作業や、竹酢液の小分けなど、竹をめぐる活動に総合的にとりくみましょう。

また、滞在中の食事についても工夫しましょう。竹の皮を竹林から拾ってくれば、そこにおにぎりを包むことができ、弁当箱の代わりになります。また竹の筒に米と水をいれ、ご飯を炊くこともできます。電気やガス、石油の使用をただちにゼロにできないとしても、里山の資源を活用し、綾部滞在中、食と資源の自給自足の割合を高めるよう工夫しましょう。

関連して、休耕田の活用作業もプログラムに組み込んでいます。綾部での農業の担い手の中心世代は70代であり、後継者問題は深刻です。里山ねっと・あやべでは、田の持ち主から休耕田を借りて活用しています。休耕田を耕し、さつま芋の苗を植える作業を予定していますので、一緒に作業しましょう。今は小さな芋苗も秋には大きく育ち、おいしいさつま芋として収穫できることでしょう。放置すれば雑草の巣となる休耕田も、こうすれば荒れずに維持していくことが可能です。また夜には、地元の小川でホタルを観察しましょう。都市圏ではなかなか目にすることのないホタル。田舎でも、圃場整備など環境の変化にともなって昔よりは少なくなりました。しかし今回の現場近くの小川ではちょうど6月、夜に明滅する幻想的なホタルを見ることができます。

里山を守ろうとする取り組みは、すぐには成果が出るものではありません。それは、100年かかるかもしれません。100年後、私たちはいません。しかし、森は残ります。私たちが守ろうとする森が、人と自然の共存するシンボルになるかもしれません。再び、美しい里山を取り戻すために、汗をかいてみませんか。そして、農村と山林の状況、そして取り組みの実績と成果について広く伝えていくため、写真による記録もしっかり残していきましょう。写真記録の得意な学生の参加も歓迎です。

【申し込み期間】2012年4月24日(火)13:00 ~ 6月4日(月)16:00

【定員】先着15名

募集概要

1. 日程

2012年6月16日(土) ~ 17日(日)1泊2日

2. 活動概要

(1)活動場所

京都府綾部市鍛冶屋町周辺

(2)活動受け入れ団体

特定非営利活動法人 里山ねっと・あやべ HP : <http://www.satoyama.gr.jp>

里山ねっと・あやべの「森林ボランティア」グループ井本和美さんいもとかずみ・高下三弥さんこうげみつや

鍛冶屋町 塩見栄一さん(地元農家)

(3)主な活動内容

- ・竹材の伐採
- ・伐採した竹の運搬、細断、粉碎
- ・竹材や竹炭、竹の皮を活用した食事の自炊
- ・竹酢液のボトルへの小分け作業
- ・小川でのホタル観察
- ・休耕田での芋の苗植え

(4)イメージ



日の当たらない放置された竹林



藪を刈り払い、燃やす作業



立命館学生による竹の伐採作業(2012年2月)



竹炭焼き窯



竹や炭を粉砕するシュレッダー



電気やガスでなく自然の薪で自炊しよう

3. スケジュール

6月16日(土)		6月17日(日)	
12:00	JR「綾部駅」南口集合	7:00	起床～朝食自炊 ・地域の食材を用いた自炊
12:30	あやバス「綾部駅南口」乗車	9:00	<竹林整備作業(つづき)> ・竹の伐採、運搬、細断、粉碎
12:56	あやバス「かじや」到着	12:00	昼食
13:00	ガイダンス～移動	13:00	<芋の苗植え> 守る人のいない休耕田に 芋の苗を植えよう
14:00	<竹の伐採と活用> ・竹の伐採、運搬、細断、粉碎 ・竹酢液のボトル小分け ・竹炭焼き窯の作業見学 ・食事用の竹の皮拾い	14:30	片付け、あいさつ
18:00	夕食自炊 ・地域の食材と竹を活用した自炊	15:09	あやバス「かじや」乗車
20:00	1日目ミーティング(ふりかえり)	15:35	あやバス「綾部駅南口」到着
21:00	地元の小川でホタル観察	16:00	JR「綾部駅」南口解散
22:00	就寝		

4. 参加費

交通費、宿泊費、ボランティア保険料、現地での活動費用が必要です。

交通費 綾部駅～かじや(あやべ市民バス) ¥600(往復)

宿泊費 綾部市里山交流研修センター ¥3,000

食費 16日夜、17日朝・昼(3食) ¥2,000程度

ボランティア保険料 京都市社会福祉協議会 ¥300

合計¥6,000程度

上記のほかに、綾部駅までの交通費がかかります。目安:京都駅～綾部駅(片道1280円)

5. 持ち物

着替え(長袖、長ズボン、多目に)

水筒

寝巻き(ジャージなど)

帽子

タオル、バスタオル

運動靴(できるだけ底の厚いもの)

洗面具(歯ブラシなど)

保険証のコピー

雨具(カッパ)

筆記用具

6. 集合・解散

(1) 集合・解散時間・場所

集合:6月16日12:00 JR山陰線「綾部駅」南口集合

解散:6月17日16:00 JR山陰線「綾部駅」南口解散



綾部駅南口 集合・解散場所地図

(2)京都駅から綾部駅までのアクセス 京都駅(円町駅)発着の場合の推奨ダイヤ
 京都駅(円町)～綾部駅 所要時間:約2時間 運賃:片道1,280円

<行き>	<帰り>
10:07 京都 JR 山陰本線快速「園部」行 (10:14「円町」より乗車可)	16:07 綾部 JR 山陰本線普通「園部」行
10:43 園部 JR 山陰本線普通「福知山」行	17:15 園部 JR 山陰本線快速「京都」行 (17:43「円町」にて下車可)
11:52 綾部	17:52 京都

応募方法

(1)申し込み方法

下記のフォームに必要事項を記入し、

ritsvc@st.ritsumei.ac.jp までお送りください。

【件名】「あやべ里山プロジェクト申し込み」

【申し込みフォーム】

=====

「あやべ里山プロジェクト」に参加申し込みをします。

【学生番号】

【学部・回生】

【氏名・よみがな】

【住所】(ボランティア保険の加入手続きに使用します)

【携帯電話】

【緊急時電話番号】

【学内メールアドレス】

=====

(2)選考について

応募者が定員(15名)を超えた場合、**先着順**で受付をします。

問い合わせ

立命館大学サービスラーニングセンター(担当：西村)

[衣笠]〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 学而館 1 階

TEL:075-465-1952 FAX:075-465-1982

[BKC]〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 セントラルアーク 2 階

TEL : 077-561-5910 FAX : 077-561-5912

E-mail: ritsvc@st.ritsumei.ac.jp

URL: http://www.ritsumei.jp/vc/index_j.html